

## 日本遺産登録に向けて提案資料

当初メンバーは、それぞれの観光・商工への思いを持って集まりました。しかし、分科会として1つにまとまらなければ、期間中に活動していくことができないと考えていたところ、「日本遺産」が目にとまりました。

我々は、この2年間この地域の歴史と文化を学んで来ました。そこで勉強した事を参加した人に分かりやすく説明するのでは無く、学んだことは市も国もご存じと言う前提で市内の売りを市役所から国へ申請して貰える様に整える事にしました。

そこで、観光・商工分科会は、何を登録して貰いたいのか？

それは、「大井川流域の歴史と文化」これは、島田の歴史は、大井川によって形成されている。切り口はそれぞれですが以下に記します。

島田の地は、激流大井川に翻弄され、時には領地争いの舞台となり、人々は大自然に果敢に戦いを挑み、天正の瀬替えで大いなる恵みを勝ち取った。徳川幕府は大井川を川の関所にして川止めを行った、川止めによる200年の長年に亘り、川越し文化を造り、街道産業が栄、島田に多くの富を与えた。しかし、時代の流れに流され、取り残され変化を余儀なくされた今日、再び大井川に縋り付く想いで注目した。

○諏訪原城は、遠州と駿河の国境にある大井川を見渡せる台地にある国定史跡の戦国時代の城です。甲州流の築造技術を現代に残す貴重な地縄（城の形）を残しています。戦国時代には、武田氏と徳川氏の戦いが行われた最前線であった。戦いに必要な戦略的丸馬出し、攻めやすく守り安い作りそんな諏訪原城は富士山と大井川と志太平野を一望する事が出来 JR 東海「金谷駅」から徒歩15分から20分と交通の便が良いところに位置している。今後整備計画もあり更に見学しやすくなると大いに期待出来る。

○川越遺跡は「箱根八里は馬でも越すが、越すに越されぬ大井川」と詠われた東海道一の難所、渡船や橋を架けることを禁じられた川の関所であり200年以上に亘り川越人足の人間の力を借りて肩車やおんぶ、蓮台越し等で人の手を介して渡って来ました。川止めで旅人は、長期間滞在を余儀なくされる事により、東西の文化交流、人や物の流通により島田・金谷宿は大いに栄えました。

○帯祭りは1664年大井神社の神事として始まり、1695年には大祭りと言われるようになった。

その後も川止めで潤った町衆によって各年代に余興（芸能）がくわえられ、今日のような時代絵巻を300年以上伝えている。

「帯祭り」の名前の由来は、女性の丸帯を大奴と呼ばれる（行列の警護武士）の木太刀に下げて安産祈願のお札と共に街を歩くことからである。

最近では区画整理により、街中の世帯が激減し、なお昔と違い商い人からサラリーマンに変わりお休みが取れにくくなった事などが原因で参加人数が揃わない街が増えており、お祭りを存続することが難しく成ってきた。そこで街中のお祭りに囚われず島田市内全体の祭りとして、屋台や余興の種類を増やし、境界線の概念を新たな仕組みに考え、賑やかなものにする事が出来ればと願う。

観光協会を中心に一同に会する会議の開催を検討して行きたい

○髷祭り 毎年9月の第三日曜日に本通7丁目から大井神社まで島田髷の美女達が揃いの浴衣で艶やかな踊りを披露する。文金高島田で有名な島田髷。島田で唯一と言って良いほどの全国に名前を轟かせている髪形。古くから女性の髪形は注目の的だった事を考えると、この町から全国のファッションリーダー的髪形を発信した。今後髷を結いたい人が気軽に参加出来るように全国に発信し髷踊りを説明付の SNS で共有して参加を増やして行けたらいいと思う。ネットの英語配信などで世界に発信して行ければ世界規模になるのではないか？これは今でも全世界に発信出来る最大の強みの一つと考える。

宮城県大和町島田飴祭りとのコラボは如何か？

若衆歌舞伎の髪型を取り入れ広まった（POLA 研究所）

東西交通の交流の場所であったため広がりを見せた。このことと虎御前？

○家康が小田原攻めの後、江戸に転封されたのちも、大井川の地政学的、経済的重要性（上洛費用捻出のための地域）から、豊臣勢力下にあった静岡中西部地区にあって、長谷川氏を代官として島田に残した。其の屋敷内にあったお稲荷様の年一回のご祭礼は庶民も参拝が許された。その際には、役人の不正を伝えるために風刺人形を作ったことから、いつしか「悪口稲荷」の愛称で親しまれることになった。その来歴を踏まえた「愛するあなたへの悪口コンテスト」が開かれるようになって14回迎かえている。

今後、市内外の人が集まる所で、コンテストのアプリを紹介して、作品を募り年一の発表会に向けて、2～3か月1回の審査予選会をもうけ、年代別の作品を選ぶ取り組みはどうか？場所は出来れば柳町の御陣屋稲荷で出来れば。その様子は、SNS や動画配信にてひろめる

○その他 大井川鉄道、牧の原茶園、金谷石畳、牧の原公園の夜景、敬満神社、お茶の郷  
その他 以上

上記を動かす、仕組みというかインフラ

- ・特に観光協会の役割の（いらないことをやめて）整理と強化を求める。
- ・商工会議所・商工会・法人（企業）との連携（青年部や女性部の協力体制を作る）
- ・行政と市民セクターの「協働」のグループがおこなう市民ライター的なもの
  - ↑街づくりに広範にかかわる人のためビジョンを持ってじっくり育てる必要がある

旧島田市は、観光面において、積極的な計画を持たなかった。しかし、金谷町や川根町との合併により大井川を中心にした観光地や歴史を改めて認知した。これからはスピード感を持って日本遺産を足掛かりに全国、全世界に島田市の観光の素晴らしさを知らせて行こう。